

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|---------------|---------------------------|--------|--|
| 家計 動向 関連 | 良く なっている | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・食パンの新製品の売行きが好調である。 |
| | | 乗用車販売店（店長） | 来客数の動き | ・決算期を迎えたことやエコカー補助金支給が決まったことで、来客数は平日が前年比80%増、土・日が150%増と順調に伸びている。 |
| | | 観光型ホテル（スタッフ） | 販売量の動き | ・春休みシーズンでもあり、家族向けの商品プランを中心に販売量が増えてきている。 |
| | やや良く なっている | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・昨年同期と比較して売上が5%増となっている。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・客単価がやや上昇してきており、客の話しぶりは以前と比べて格段に明るくなっている。来街者数はあまり増加していないが、気候も暖かくなってきて、気持ちよく買物ができている。 |
| | | 商店街（代表者） | それ以外 | ・売上額が前年を上回り景気は上向いている。しかし商店街においては、業種により売上確保が難しい商店もあり、全体で上向きとの判断は難しい。 |
| | | 一般小売店〔印章〕（経営者） | 販売量の動き | ・個人、会社関係の印鑑注文が増加している。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・春物が少し売れるようになるとともに、近隣のアウトレット施設の影響が薄らいできたため、テナントの約半数が昨年同月を上回るなど、徐々に回復の兆しが現れている。 |
| | | 百貨店（営業担当） | お客様の様子 | ・月初めの外商の催しでは、毛皮や高額品の売上が前年比60%増となり月々の目標を上回っており、景気が上向いている。 |
| | | 百貨店（販売促進担当） | お客様の様子 | ・宝飾、美術、婦人服で高級品の売上が回復してきている。またここ数か月、来客数も前年比プラスで推移しており、若干ながら景気回復感がある。 |
| | | 百貨店（販売担当） | 来客数の動き | ・昨年は東日本大震災後売上が大きく落ち込んだが、現在は来客数、売上ともに昨年を大きく上回っている。 |
| | | スーパー（店長） | 単価の動き | ・客単価が前年比1～2%増と良くなるとともに、販売点数も前年並みとなっている。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・東日本大震災後の特需を差し引けば、販売点数が昨年に比べ徐々に改善されている。 |
| | | 乗用車販売店（統括） | 販売量の動き | ・エコカー補助金効果により販売量が増加している。 |
| | | 乗用車販売店（副店長） | 販売量の動き | ・新型車効果や現行のエコカー減税終了に伴う駆け込み需要、更にエコカー補助金延長の3点が追い風となっている。 |
| | | その他専門店〔和菓子〕（経営者） | 販売量の動き | ・3月に入り販売量、来客数ともに前年に比べ大幅に増加している。 |
| | | その他専門店〔海産物〕（経営者） | 来客数の動き | ・土曜、日曜は特に天候が悪く来客数も例年より少なかったが、桜開花情報等に伴って団体客がやや回復傾向になってきている。 |
| | | その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員） | 来客数の動き | ・天候も良く、入学・進学等の社会催事で客の動きは活発となっている。 |
| | | その他小売店〔ショッピングセンター〕（営業担当） | 販売量の動き | ・昨年度は東日本大震災の影響による物流の不具合や、消費マインドの低下などで厳しい時期があったが、今年度は気温上昇の時期が遅れているものの、順調に推移している。 |
| | | 一般レストラン（外食事業担当） | 来客数の動き | ・和食の来客数を始め全体的に来客数が増えており、宴会の件数も増加している。 |
| | | その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人） | 来客数の動き | ・前年同期は自粛ムードで客の動きが悪かったが、今年は3月に入りバス、自家用車ともに動きが良くなり、特にスポーツ関係の団体客が多くなっている。 |
| | | 観光型ホテル（支配人） | 来客数の動き | ・先月に引き続き外来の食事客が増えており、特に週末はにぎわっている。宴会部門は低調だが宿泊客の増加でカバーできている。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・宿泊客が順調に伸びるとともに、ビジネス客の長期滞在も増えている。 |
| 都市型ホテル（総支配人） | 来客数の動き | ・観光客の宿泊数が少し伸びてきている。 | | |

| | | | |
|-------------------------|-----------------------|---|--|
| | 都市型ホテル (企画担当) | 来客数の動き | ・個人客が増加してきている。 |
| | 通信会社(企画 担当) | お客様の様子 | ・年度の区切りということもあるが、東日本大震災後 1年を経過して復興工事が始まるとともに、株価も回 復しつつあることから、客から明るい声を聞くことが 多くなってきている。 |
| | 通信会社(広報 担当) | 販売量の動き | ・新生活のシーズンを迎え販売が大幅に伸びている。 |
| | ゴルフ場(営業 担当) | お客様の様子 | ・3月に入っても寒い日が多く客の予約が少ない。特 に事前予約が少なく、直前の天気で来場が左右されて いる。 |
| | 美容室(経営 者) | お客様の様子 | ・3月は人が動く時期で景気が良くなっているが、3 か月前と比べて目立って良くなっているわけではない。 |
| 変わらない | 商店街(代表 者) | 来客数の動き | ・商店街の交通量調査では、アーケード撤去工事など 通行止めの影響もあり、前年に比べ交通量が減少して いるとの結果が出ている。 |
| | 一般小売店 [靴](経営 者) | 販売量の動き | ・大型商業施設や通信販売のポイント制度による集客 力に太刀打ちできない。 |
| | 一般小売店 [茶](経営 者) | 販売量の動き | ・毎日が寒くまだ雪も時々降るような不順な天候が続 くため、最低限の物しか購入しない節約ムードが漂っ ている。 |
| | 一般小売店[酒 店](経営者) | お客様の様子 | ・例年より寒い日が多く天候の変化も激しく、荒れ模 様の日には客足に影響があり売上が悪い。また、ガソ リン高騰の影響で節約意識が更に高まっている。 |
| | 一般小売店[酒 店](経営者) | 販売量の動き | ・雪などの影響があった先月よりは大幅に持ち直して いるものの、3か月前とは同じ水準となっている。 |
| | 一般小売店[紙 類](経営者) | お客様の様子 | ・店の売上の大きな割合を占める60歳以上の客が、天 候の影響で外出を控えたため売上が減少している。 |
| | 百貨店(売場担 当) | 販売量の動き | ・東日本大震災の復興需要を期待したが、気温の低下 もあって帽子など季節アイテムが振るわず、特に3月 後半は来客数が少なく店全体として前年割れの基調と なっている。また客は賢く消費するスタイルとなり、 防災対策、花粉対策、美白対策など、悩み別の購入の 傾向が強くなるとともに、ブランド志向は薄まり、フ レッシュャーズやマザーズーツなどは価格志向の量販店 に流れる傾向となっている。 |
| | 百貨店(購買担 当) | お客様の様子 | ・入園・入学の時期であるが、婦人用スーツの動きは 鈍くなっている。一方で、紳士ビジネススーツは機能 性に富んだものが豊富に出ており順調である。また、 気温が定まらず秋冬のセール品を求める客が多くなっ ている。 |
| | 百貨店(売場担 当) | お客様の様子 | ・前年は東日本大震災という特殊条件があり、今月は 前年との増減面の単純な比較はできないが、アパレル 部門や食品部門などで客は活発化しており、ここ数か 月との比較においては良好に推移している。 |
| | スーパー(店 長) | 販売量の動き | ・客単価は変化なく推移している。 |
| | スーパー(店 長) | 販売量の動き | ・自粛、儉約ムードがしばらく続いていたので、徐々 に回復しているものの、昨年の東日本大震災需要の影 響で、今月は5%減の売上と低迷している。 |
| | スーパー(販売 担当) | 単価の動き | ・機能性より低価格な商品を求める客が増えている。 |
| | スーパー(販売 担当) | それ以外 | ・競合店に対抗する形でポイント3倍の日を復活させ たが、来客数は増加していない。 |
| | コンビニ(エリ ア担当) | 来客数の動き | ・気温があまり上がらず、気温上昇に伴う来客数の戻 りが例年に比べ少なくなっている。 |
| | 衣料品専門店 (経営者) | 販売量の動き | ・客からも景気の悪い話を聞かない。 |
| | 衣料品専門店 (経営者) | お客様の様子 | ・3月の展示会では、今の景気の中で消費に前向き な客もそうでない客もいるいるである。個人の事情に よるところが多く把握の困難な面もあるが、注文品の なかには数は少ないものの、高価な物を希望する客も 出てきている。 |
| 衣料品専門店 (地域ブロック 長) | 来客数の動き | ・フレッシュマンセールで必要品の購入はあるが、一 般の来客数が少なくなっており、トータルでは前年並 みである。 | |
| 家電量販店(店 長) | 来客数の動き | ・競合店が出店攻勢を強めており固定客が流出する傾 向にある。 | |

| | | |
|---------------------------|--------|--|
| 家電量販店（店長） | 来客数の動き | ・目立ったことは特になく状況は変わらない。 |
| 家電量販店（販売担当） | 来客数の動き | ・決算時期だが動きが今一つで、シングル向けも少なくなっている。 |
| 自動車備品販売店（経営者） | 販売量の動き | ・メーカーは原料高騰を理由に商品の値上げが可能だが、実際の小売販売価格は上げることができないうえに、販売量は変わらないことから、利益はますます圧迫されている。中小零細企業は虫の息となっている。 |
| その他専門店〔布地〕（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が減少し高級品はあまり動いていない状況である。 |
| 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・3月末は年度替わりに伴う人の動きがあり、来客数はまずまずとなっている。 |
| 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が少し増加したが、3か月前から悪い状態が続いている。 |
| 一般レストラン（経営者） | 販売量の動き | ・今年に入り販売量が前年実績未達の状況で苦戦している。特に天候不順による影響もあるが、消費自体の落ち込みに加え労務の質の低下も一因となっている。 |
| 一般レストラン（エリア担当） | 来客数の動き | ・歓送迎会の予約も少ない状態で客単価も低くなっている。 |
| 旅行代理店（経営者） | 単価の動き | ・昨年度は東日本大震災の影響でかなり数字が落ち込んでいたが、本年度はその影響はないものあまり好景気とは言えない。春休みで旅行シーズンであるが変化があまりみられない。 |
| タクシー運転手 | 来客数の動き | ・引き続き昨年比マイナスで推移している。 |
| タクシー運転手 | お客様の様子 | ・東日本大震災の影響がなくなり景気は良くなっている。 |
| タクシー運転手 | 来客数の動き | ・送別会でタクシーを利用する客が比較的多かったが、大きくは変わっていない。 |
| 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・客の反応は鈍く景気が上向きになっているとは言えない。 |
| 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・地上デジタル放送への移行完了以降は、多チャンネル放送サービスへの関心が明らかに低下している。 |
| テーマパーク（管理担当） | 来客数の動き | ・来館者数の動向が3か月前と変わらない。 |
| テーマパーク（広報担当） | 来客数の動き | ・昨年からの気温の低い天候がずっと続き、雨や雪の日が多かったため客足は不調となっている。 |
| その他レジャー施設（アミューズメント） | 来客数の動き | ・来客数の伸びが前年実績を超えない状況が昨年末から継続している。特に夕方以降来店していた若者層が少なくなっている。母体のショッピングセンターへの来客数も同様に前年実績を超えていない。 |
| 美容室（経営者） | 単価の動き | ・客は新しいメニューや提案は受け入れず、従来のままの注文を行っている。 |
| 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・客単価や販売量は伸びているが、来客数は減少し来店周期の長期化が目に見えてわかる。 |
| その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当） | お客様の様子 | ・客やその家族との会話のなかで、具体的に景気や経済状況の変化の話は一切聞かれない。 |
| 設計事務所（経営者） | 販売量の動き | ・受注の動きにあまり変化がなく大きな変動はない。 |
| 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・相変わらず低価格の商品しか売れない。相次ぐ低価格商品販売の大型店出店により、更なる価格破壊が始まっている。客の動向は更なる低価格商品に移行していく。 |
| 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・東日本大震災の影響もあり、耐震性向上に関する動きはみられるものの、新築に関しては動きが悪い。 |
| 設計事務所（経営者） | 来客数の動き | ・消費税アップの議論が続いているので住宅の取得を検討している客は多いが、住宅金融支援機構の長期固定金利の引き下げや、住宅版エコポイントの条件が昨年と比べると悪いと踏み切れないでいる。 |
| 住宅販売会社（販売担当） | お客様の様子 | ・景気の先行き不安感のためか、貯蓄額と購入限度額とのバランスをかなり慎重に検討する客が多くなっており、万が一のための蓄えに回す生活感が色濃くみえる。 |
| 住宅販売会社（営業担当） | お客様の様子 | ・客の様子や来客数、問い合わせ件数などから、前期とほぼ同様の状況である。 |
| やや悪くなっている 商店街（理事） | お客様の様子 | ・寒さが続いており客の消費意欲が湧いていない。 |

| | | | | |
|--------|-----------|-----------------|---------|--|
| | | 商店街（代表者） | 単価の動き | ・最近ではインターネット通信販売を利用する客が増えている。また、今月は気温が上がらず春物の売行きが悪くなっている。 |
| | | 百貨店（売場担当） | 販売量の動き | ・貴金属、美術品などの高額品の売行きが伸び悩んでいる。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・例年に比べ転勤などが減少していることに加え、卒業や入学準備などの新生活関連商材の動きが悪くなっている。 |
| | | スーパー（業務開発担当） | 単価の動き | ・買上点数にも増して買上額が減少している。客の購入量の節約と合わせ低価格商品購入へのシフトが顕著となっている。 |
| | | スーパー（管理担当） | 来客数の動き | ・商圈内にディスカウント店がオープンし来客数が減少している。前年に比べ客単価の低下は、来客数の減少ほどではないが、影響は大きくなっている。 |
| | | コンビニ（副地域ブロック長） | 競争相手の様子 | ・1、2月に競合店の出店が相次ぎ、来客数の前年割れが続いている。 |
| | | 衣料品専門店（販売担当） | 来客数の動き | ・販売は常連客中心で一般客が少なくなっている。 |
| | | 家電量販店（店長） | 販売量の動き | ・デジタル放送への移行とエコポイントの終了で、テレビなどのAV機器の販売が低迷している。 |
| | | 家電量販店（企画担当） | 単価の動き | ・商品単価は年々低下しているが、客からはより安く良いものを求める気持ちが強くなっている様子がうかがえるとともに、客単価も低下してきている。 |
| | | 住関連専門店（営業担当） | 来客数の動き | ・土日の来客数が大幅に減少している。 |
| | | その他専門店〔時計〕（経営者） | 単価の動き | ・売行き全体はし好の変化によるものか景気の低迷によるものか判断が難しい。宝飾品は限られた客が購入しているが、その販売価格の低下に歯止めがかからない。 |
| | | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・2、3月ともに来客数の減少により売上が落ちてきている。 |
| | | 競艇場（職員） | 来客数の動き | ・3か月前はG1競争の開催や年末年始のレース及び人気の高いレースの全国発売を行ったため、集客が増加し売上が伸びたが、それ以降は通常の企画内容で売上は伸び悩んでいる。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 来客数の動き | ・減少傾向にあった3か月前より更に1割の受注減となっている。また、店舗や現場見学会への来客数も同様の状況となっている。 |
| | 悪くなっている | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・今の商店街の商売で潤っている店舗はなく、何もできないまま利益が不十分な店舗が半分以上存在している。また状況は年々悪くなっており大変厳しい状況となっている。 |
| | | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・観光客が増加せず来客数が減少している。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・ディスカウントスーパーの出店で集客の競争が激しく、来客数が平日、週末ともに大きく落ち込んでおり、特に週末には大きな影響が出ている。 |
| | | スーパー（財務担当） | 来客数の動き | ・所得が増えないなかガソリン、電気代の値上げ等生活に不安要素が多いため、節約志向が一段と強くなり来客数が減少している。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・公共事業工事とその関係労働者が減少し、来客数にも影響している。 |
| | | 自動車備品販売店（経営者） | 販売量の動き | ・売上金額が前年比30%減の見込みとなっている。 |
| | | テーマパーク（業務担当） | 来客数の動き | ・今期は本来なら来園者数が増加する週末に天候不順が続く、前年を大きく割り込んでいる。また、来園者の9割近くが自家用車で来園するが、ガソリン価格の高騰が続いているため出控えが起りやすい状況が続いている。 |
| 企業動向関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 鉄鋼業（総務担当） | それ以外 | ・為替が80円台に戻り一服するとともに、インフレ目標の設定が奏功している。 |
| | | 通信業（営業企画担当） | 取引先の様子 | ・客の情報関連機器の見直しに伴い、クラウドサービス等の新サービスへの検討が増加しており、案件により予算の前倒しによる導入も見込まれている。 |
| | | 不動産業（総務担当） | それ以外 | ・来客数と成約件数が増加している。 |

| | | | |
|-----------|--------------------|---|--|
| | 広告代理店（営業担当） | 取引先の様子 | ・物流業界の動きが上向きになっている。物が動くなかで、年度末でもあり人事異動、卒業、入学等活発になるシーズンであり、引越し業者も活動シーズンを迎え準備を整え活動時期に入っている。介護施設開所もあり、求人募集も多く見かける状況となっている。また、官公庁及び業界イベントも多くなり人、物、金が動き出している。 |
| | 会計事務所（職員） | 取引先の様子 | ・年度末という事情もあり、先月と比べどの業種もそれなりに忙しくしている。しかし内容的にはどの経営者もあまり手ごたえのある状況ではない。特に公共事業の依存度の高い建設業では、大口やある程度の利益の見込まれる案件の受注はまずみられない。 |
| 変わらない | 食料品製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・プライベートブランドの値上げをしたが、客の動きに変化は出ていない。 |
| | 化学工業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・円高は少し緩和傾向であるが、販売価格への影響はまだ厳しい状況である。 |
| | 非鉄金属製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・エコカー向けは好調が続いているが、電子向けは稼働率に余裕が生じている。 |
| | 金属製品製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注量は3か月前に比べ30%減少しており、厳しい状況である。工場の稼働を低下させないため、納期が先のを前倒しで生産したり、営業が受注とともに生産工程に組み入れている。 |
| | 一般機械器具製造業（経営企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・自社製品の売上は、国内向けの市場の冷え込みによる売上不振と海外向けの円高による為替の影響で、厳しい状況が続いている。 |
| | 電気機械器具製造業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・復興需要への期待が持たれるものの、円高、電気代の値上げを含めた原油高等が間接的にボディブローのように影響を及ぼしており単価への多大な影響が懸念されている。 |
| | 輸送用機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新車種が立ち上がり忙しくなっている。 |
| | 輸送用機械器具製造業（経営企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・新製品のみ好調だが、受注量全体としては停滞傾向である。 |
| | 輸送用機械器具製造業（総務担当） | 競争相手の様子 | ・関係業界の状況にあまり変化はない。 |
| | 建設業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・依然として小口工事が主体で、忙しい割に利益につながらない。 |
| | 輸送業（業務担当） | 受注量や販売量の動き | ・年度末の特殊事情により一時的に荷動きが多くなっている。 |
| | 輸送業（支店長） | 受注量や販売量の動き | ・東日本大震災の特需もあり、引き続き順調に推移している。 |
| | 輸送業（総務担当） | 取引先の様子 | ・地域の大手メーカーの経営統合による規模縮小により、引き続き経営環境は悪くなっている。 |
| | 通信業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・年度末の駆け込み需要で若干の受注増はあるものの、SOHO市場への営業活動では、例月・例年どおりで目立った景気回復感は見られない。 |
| | 金融業（自動車担当） | 取引先の様子 | ・自動車部品メーカーの操業は完成車メーカーの新型エコカーの受注が好調であり、高水準で推移しているため、売上高は前年を上回り底を打った感が強くなっている。 |
| 金融業（営業担当） | 取引先の様子 | ・取引先の経営者へのヒアリングでは、景気回復を明言する人はいないが、ここ数か月で悪くなったとの話も聞くことはなく、一部の小売業やサービス業では売上が下げ止まっている様子がうかがえる。ただ夜の飲食等に出向く人は依然として少なく、景気回復を実感するまでには至っていない。 | |
| やや悪くなっている | 食料品製造業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・客の一回の購入単価が低くなってきている。 |
| | 木材木製品製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・冬期という季節要因もあるが、3か月前と比べ新設住宅の着工件数が減少している。 |
| | 化学工業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・景気の不透明感からサプライヤーが販売価格を見直す動きがあり、製造原価上昇の要因となっている。 |
| | 窯業・土石製品製造業（総務経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・3月半ばより鉄鋼業向けと各地のゴミ焼却炉向けとがともに受注に伸び悩んでいることから、生産量確保のため一部の部門で臨時休業による生産調整を実施している。 |

| | | | |
|-----------|---------------------------|------------|---|
| | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共、民間ともに苦戦しており、不動産の動きも低調である。初めて入居者が決まらないという事案もあり、景気の状態は悪くなっている。 |
| 悪くなっている | 農林水産業（従業者） | それ以外 | ・3か月前と比較すると水揚げ数量は600トン、水揚げ金額も2億1,000万円の減少となっている。2月単月の水揚げ数量は前年と比べ41%増で、816トンの増加、水揚げ金額も18%増で、8,050万円の増加となっている。 |
| | その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・販売価格低減のための海外生産が最近特に進んでおり、国内生産の状況はますます厳しくなっている。また当社では円安により海外からの部材の仕入れ値が上昇している。 |
| 雇用関連 | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・電気機械製造関係の企業から製造工の求人意欲が強くなるとともに、公共工事の増加により建設業の土木作業員の求人意欲が強くなっている。また、慢性的に求人意欲の高い飲食業の調理員やホール系の求人も増加している。しかしながら円高の影響で引き続き輸出関係製造業の求人意欲は低くなっている。 |
| やや良くなっている | 求人情報誌製作会社（サイト運営担当） | 周辺企業の様子 | ・決算期でもあり中途有料募集広告の売上が伸びている。 |
| | 求人情報誌製作会社（広告担当） | 求人数の動き | ・地場の大手企業の採用が一段落する5月中旬～6月ごろから中小企業が採用活動をスタートさせる動きが出てきており、今は採用に向けた具体的な戦略を検討している状況であるとともに、機械・電機系を中心とした理工系の採用ニーズが高くなってきている。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 求人数の動き | ・1月の新規求人が3年11か月ぶりに1万5,000人台に回復している。産業別では建設業が15.8%増と16か月連続、卸小売業が25.6%増と17か月連続で上昇している。一方、製造業は4.3%減と8か月ぶりにマイナスとなっている。 |
| | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・2月の新規求人数は前年同月比では17.9%増加、前月比では4.0%減少している。一方、新規求職者数は前年同月比では9.8%減少、前月比では10.3%減少している。年度変わりの時期を迎え、特にサービス業で新年度向けの臨時求人が多く、新規求人数は大幅に増加している。また新規求職者数は前年同月比では10%前後の減少を続けており、この傾向はしばらく続く見込みである。 |
| | 民間職業紹介機関（人材紹介担当） | 求人数の動き | ・消費の増加に伴う人員補充の面から、サービス業のアルバイトやパートの募集が増加している。 |
| | 学校〔短期大学〕（学生支援担当） | 求人数の動き | ・大学生の就職先がほぼ決まった状態となっており、求人数が増えてきている。 |
| 変わらない | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・年度末の繁忙時期に対応するため派遣での求人依頼はあったが、一時的なものである。 |
| | 人材派遣会社（支社長） | 求人数の動き | ・求人数は横ばいだが、社内異動等交代での求人数が増加しており、増員による求人は増加していない。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 雇用形態の様子 | ・昨年秋ごろから地元の中堅食品製造の事業所では、管理・事務部門の新規・補充採用の従業員を、従来の正社員から人材派遣会社からの要員に切替えて採用している。現場は従来からパートが中心だが、コスト削減策には人材派遣で対応するしかないとの経営者の声もある。 |
| やや悪くなっている | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・主要企業の4月の派遣求人依頼が例年以上に減少している。特に製造業では、為替が円高から円安基調に変化している好材料が、新規求人の依頼にまではまだ及んでいない。 |
| | 民間職業紹介機関（職員） | 周辺企業の様子 | ・地場の大手企業による早期希望退職募集等のリストラが業界関係者に通知されたり、拡大路線を歩んでいた中小メーカーが取引先の設備投資抑制等の影響で倒産するなど、身近なところで消極的な話を耳にするようになっている。 |
| | その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員） | 求人数の動き | ・求人は新規に進出する食品メーカーから大量求人がある一方で、大手電機メーカーのリストラに伴う事業縮小などの大量離職が数件発生し、求人全体としては前年比で減少となっている。 |
| 悪くなっている | - | - | - |